

景観出前授業（令和4年度～）

県内の美しい景観を保全していくには地域の担い手が必要です。

景観出前授業の開催

県では、小学生を対象に出前授業で「景観まちづくり」を学ぶ機会を作り美しいまちづくりへの意識を持ち、郷土の良好な景観を守り育てる行動ができる人づくりを目指します。

- ▽ 教育委員会等への周知
- ▽ 打合せ・市町村での景観を保全する活動や団体の情報提供
- ▽ 当日の同行・現地の説明等
- ▽ 他の学校で市町村が主体となり開催

R7年度開催 合計201名

山形市立東沢小5・6年生 64名

（6月30日 座学1h+馬見ヶ崎川河川敷・唐松観音の見学3h）

寒河江市立柴橋小4年生 34名

（7月1日 座学1h+最上川ふるさと公園・熊野神社の見学3h）

酒田市立松山小6年生 7名

（7月15日 座学1h+松山城跡まちあるき+眺海の森3h）

南陽市立赤湯小3年生 96名

（7月24日 座学1h）

参加した児童はR4年度104名、R5年度111名、R6年度121名、R7年度201名と増加しています。地域を理解する総合学習の場で活用していただいています。

先生達の出前授業後の総合学習の展開をヒアリングし、それぞれの学校に合った授業の構成で開催。座学後、スクールバスで学校周辺の景観を巡り、その場所の保全や地域活性化に取り組む方の話を伺う。



- 山形市立東沢小(馬見ヶ崎の河川敷で山形市から芋煮会のイベントの話聞き、唐松観音を見学。)

【成果】生徒達が景観ビューポイントまでの道のゴミ拾いボランティアに参加する行動につながったり、大人達にとっても保全継承のモチベーション向上につながった。

県

- ・子供の頃からの景観を保全する意識の醸成につながる
- ・市町村の景観・地域づくりを支援することができる

市町村

- ・景観保全活動・地域づくり活動等の活性化が期待できる
- ・他の小学校での実施など、景観教育につなげる事ができる

学校

- ・総合学習や修学旅行の充実・活用等につながる
- ・助成金（10万円）活用で学習の充実を図ることができる

地域

- ・景観・地域づくりの担い手を育てることが出来る。
- ・地域の活動や宝に対する住民の理解に繋がる。

子供達

- ・山形の魅力を知り、地域を誇りに思う。自慢できるものが持てる。
- ・将来もこの場所に住み続けたい。地域貢献への意欲がわく。